

おい —— 英国キュー王立植物園 —— 食を彩る植物のものがたり しいボタニカル・アート

Royal Botanic Gardens, Kew

Botanical Art and the Development
of Delicious Food



1-4. ウィリアム・ブッカー《サクランボ「エルトン」》《ラズベリー「イエロー・アントワープ」》《アプリコット(アンズ)「ムア・パーク」》《プラム(西洋スモモ)「アンペラトリス」》1818年 スティップル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色/紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway 5. エメ・コンスタン・フィデル・アンリ《トウモロコシ》1828-33年 エングレーヴィング、手彩色/紙 キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW 6. インドの画家《スイカ》19世紀前半 水彩/紙 キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW

2024
7.13 sat
— 8.25 sun

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

おいしい ボタニカル・アート

食を彩る植物のものがたり

展示内容

花や薬草などを科学的に正確に、また美しく記録したボタニカル・アート。18世紀から19世紀に大英帝国として大きく躍進したイギリスは、世界各地で植物を採集して持ち帰り、果物や野菜を栽培することで食文化を豊かに発展させていきました。

本展では、20万点を超える世界最大級のボタニカル・アートコレクションを収蔵する英国キュー王立植物園の協力のもと、野菜や果物、茶、ハーブといった食用の植物画を出品するほか、食卓を飾るティーセットやレシピ本等を加えて約200点を紹介します。イギリスの歴史や文化を食を巡る植物の物語としてひも解いてみましょう。



エメ・コンスタン・フィデル・アンリ
《トウモロコシ》1828～33年
エングレーヴィング、手彩色／紙
キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW

開催概要

展覧会名	開館50周年記念 英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり Royal Botanic Gardens, Kew Botanical Art and the Development of Delicious Food
会場	群馬県立近代美術館 展示室Ⅰ
会期	2024年7月13日(土) - 8月25日(日)
開館時間	午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	毎週月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)
観覧料	一般900(720)円、大高生450(360)円 *()内は20名以上の団体割引料金 *中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
主催	群馬県立近代美術館
後援	ブリティッシュ・カウンシル
協力	日本航空
特別協力	英国キュー王立植物園
企画協力	ブレーントラスト



インドの画家《スイカ》
19世紀前半 水彩／紙
キュー王立植物園蔵
©RBG KEW



展覧会図録
『おいしいボタニカル・アート』
税込2500円
総188ページ
判型190×257mm

Royal Botanic Gardens, Kew Botanical Art and the Development of Delicious Food

——— 英国キュー王立植物園 ———

食を彩る植物のものがたり

おいしいボタニカル・アート

関連事業

■ 講演会「文学とアートから見るイギリスの食事」

日時：7月27日(土) 午後2時～3時30分

講師：小林晶子氏

(SOMPO美術館上席学芸員)

場所：2F 講堂 申込不要、参加無料

■ 学芸員による作品解説会

日時：8月10日(土)、8月21日(水)

いずれも午後2時～3時

場所：展示室I 申込不要、要観覧料

■ ワークショップ 要申込、各先着20名

※申し込み方法などの詳細はホームページをご覧ください。

No.1 アフタヌーン・ティーを楽しもう



イメージ画像(3人分)

担当学芸員と作品鑑賞の後、イギリスで上流階級の遅いディナーに合わせて始まったアフタヌーン・ティーの伝統を体験します。

日時：7月24日(水) 午後2時～4時

場所：展示室Iおよび

森のレストランころむす

参加費：3500円

対象：小学4年生以上

紅茶とお菓子等の提供：まーやの家

協力：森のレストランころむす

No.2 美術館で麗子先生とスウィートなひととき



「トライフル」イメージ画像(2人分)
Photo: Masako Nagano

軽井沢での料理教室を中心に、テレビ、ラジオへの出演、講演会、海外・国内旅行のプロデュースも行うほか、本展にもご協力いただいた山本麗子氏にトライフルとスコーン作りの実演とレシピについてのお話などをいただきます。実演後、トライフルとスコーンを試食します。

日時：8月4日(日) 午後2時～3時30分

講師：山本麗子氏

(菓子・料理研究家、クッキングプロデューサー)

場所・協力：森のレストランころむす

参加費：2000円

対象：小学生以上

■ こども+おとな+夏の美術館 7月20日(土)～8月25日(日)

夏休み期間中、子どもから大人まで楽しめる様々な体験活動やワークショップをおこないます。

詳細は当館ホームページでご確認いただくかお問い合わせください。

ワークショップの様子



お問い合わせ

群馬県立近代美術館

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

Tel: 027-346-5560 Fax: 027-346-4064

E-MAIL: bijutsu@pref.gunma.lg.jp

広報担当 石原

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA



おいしいボタニカル・アート

広報用画像

*キャプション・クレジットは広報用画像申込書でご確認ください。

1



ジョゼフ・ヤコブ・リッター・フォン・プレנק
《カリフラワー》1788~1803年頃
エンブレイヴィング、手彩色／紙
キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW

2



エメ・コンスタン・フィデル・アンリ
《トモロコシ》1828~33年
エンブレイヴィング、手彩色／紙
キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW

3



ウィリアム・フッカー
《リンゴ「デヴォンシャー・カレンデン」》
1818年、スティップル・エンブレイヴィング、
アクアチント、手彩色／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

4



ウィリアム・フッカー
《プラム（西洋スモモ）「アンペラトリス」》
1818年、スティップル・エンブレイヴィング、
アクアチント、手彩色／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

5



ウィリアム・フッカー
《アプリコット（アンズ）「ムア・パーク」》
1818年、スティップル・エンブレイヴィング、
アクアチント、手彩色／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

6



ウィリアム・フッカー
《サクランボ「エルトン」》1818年、
スティップル・エンブレイヴィング、
アクアチント、手彩色／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

7



インドの画家
《スイカ》19世紀前半
水彩／紙 キュー王立植物園蔵
©RBG KEW

8



ピエール・アントワヌ・ポワトー
《ビター・オレンジ》1807~35年
スティップル・エンブレイヴィング、
手彩色／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

9



イギリスの画家（19世紀）
《ローズヒップ》19世紀
水彩／紙 個人蔵
Photo Michael Whiteway

開館 50 周年記念



英国キュー王立植物園

おいしいボタニカル・アート

食を彩る植物のものがたり

Royal Botanic Gardens, Kew Botanical Art and the Development of Delicious Food



広報用画像・読者プレゼント用招待券申込書

群馬県立近代美術館 広報担当 石原
TEL:027-346-5560

FAX : 027-346-4064 E-MAIL : bijutsu@pref.gunma.lg.jp

開館 50 周年記念「英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート」の広報用画像 1～9を希望される方は、本用紙に必要な事項をご記入の上、上記 FAX 番号または E メールにてお申し込みください。

貴社名：

ご担当者名：

貴媒体名：

E-mail：

TEL：

FAX：

掲載予定日：

読者用招待券： ☐ 希望する（5 組 10 枚） ☐ 希望しない

招待券送付先：

ご希望の画像番号のチェック欄に✓印をお付けください。

チェック欄	画像No.	キャプション・クレジット
☐	1	ジョゼフ・ヤコブ・リッター・フォン・プレック《カリフラワー》1788～1803年頃 エングレーヴィング、手彩色／紙 キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW
☐	2	エメ・コンスタン・フィデル・アンリ《トウモロコシ》1828～33年 エングレーヴィング、手彩色／紙 キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW
☐	3	ウィリアム・フッカー《リング「デヴォンシャー・カレンデン」》1818年 ステイプル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway
☐	4	ウィリアム・フッカー《プラム（西洋スモモ）「アンペラトリス」》1818年 ステイプル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway
☐	5	ウィリアム・フッカー《アプリコット（アンズ）「ムア・パーク」》1818年 ステイプル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway
☐	6	ウィリアム・フッカー《サクランボ「エルトン」》1818年 ステイプル・エングレーヴィング、アクアチント、手彩色／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway
☐	7	インドの画家《スイカ》19世紀前半、水彩／紙 キュー王立植物園蔵 ©RBG KEW
☐	8	ピエール・アントワヌ・ポワトー《ビター・オレンジ》1807～35年 ステイプル・エングレーヴィング、手彩色／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway
☐	9	イギリスの画家（19世紀）《ローズヒップ》19世紀 水彩／紙 個人蔵 Photo Michael Whiteway

広報用画像の使用に関するお願いとご注意

この度は開館 50 周年記念「おいしいボタニカル・アート」をご紹介いただき誠にありがとうございます。
貴媒体にて本展の作品画像を使用される場合、下記の規定に基づいてご使用をお願い申し上げます。

- 1) 作品は全図で使用してください。トリミング、文字のせ等はお控えください。
- 2) ご使用の際は、必ずクレジットを記載ください。
- 3) 作品画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご容赦願います。
- 4) デジタル画像は全て jpg で、メール送信いたします。
- 5) ご掲載紙・誌を 1 部ご寄贈いただけますようお願いいたします。